

「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成30年 6月 27日

仕事の内容	戦没者遺族支援事業				
担当部署・課長名	福祉部福祉推進	課	庶務	係	課長名 嶋田 淳

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。

【施策】 地域を越えたパートナーシップの確立

(総合計画書 113 ページ)

予算名	款 3 民生費	項 1 社会福祉費	目 1 社会福祉総務費	事業 16 東大和市戦没者追悼事業費
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 東大和市遺族会会員		① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) → 遺族会会員数	
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 戦没者を追悼することにより、残された遺族の方々に平和の尊さを再認識してもらう。		② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) → 事業参加者/遺族会会員数	
	③ そのために何をしましたか。 恒久平和を願い、戦没者追悼式及び総会を行う。		③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) → 事業数	

2 指標の推移		単位	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度目標	平成31年度目標
	対象指標	①の数値	人	112	104	97	97
	成果指標	②の数値	%	65.2%	64.4%	69.1%	69.1%
	目 標	②の目標値	%	残された遺族の方々に平和の尊さを認識してもらう。			
	目標値設定の考え方						
	活動指標	③の数値	回	2	2	2	2

3 経費	事業費(実績)		円	583,873	794,139	787,227	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,253,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】平成28年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	583,873	794,139	787,227	
		特定財源	円		0	0	
		(うち受益者負担)	円		0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.15	0.15	0.2	
		所要人数(再任用)	人				
職員人件費(再任用以外)		円	1,234,950	1,240,050	1,237,950		
職員人件費(再任用)		円					
事業費+人件費		円	1,818,823	2,034,189	2,025,177		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 平和の尊さを認識するため、昭和58年から市の主催により行っている。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 高齢化による体力の低下等が見られ、総会や戦没者追悼式等の事業に参加する遺族が少なくなっている。

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成29年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について
	遺族会の運営に係る費用は会員からの会費により賄われている。また、遺族の高齢化により会員が減っている実情があることから、会員の拡大についての相談を受けている。

仕 事 の 内 容	戦没者遺族支援事業					
担当部署・課長名	福祉部福祉推進	課	庶務	係	課長名	嶋田 淳

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択しご記入ください。(複数回答可)		
	取り組んだ	取組手法 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()	
(2)平成30年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点をご記入ください。			
7 課 題	(1)平成28年度の課題についての解決に向けた取組や、事務改善など、平成29年度に実施したことをご記入ください。		
	(2)この仕事を振り返り、課題をご記入ください。		
8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性(「7 課題(2)」を踏まえた具体的な改革・改善案など)		
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等を具体的にご記入ください。		
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。		
成果	成果を維持する。	経費	仕事の経費は維持する。